



# 西川中学校通信

発行日 令和7年3月18日(火) 第13号  
ホームページ <http://www.nishichu.city-niigata.ed.jp>  
〒959-0422 新潟市西蒲区曾根1828番地3 Tel 0256-88-3148

1年生	63名
2年生	88名
3年生	66名
全校	217名

## 自分で考え行動する人に

校長 大平 淳一

66名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの門出を心からお祝いします。

当校は、教育目標「健康で知性が高く自主的で実践力のある生徒」を目指して教育活動を進めてきました。実践力をつけるための「にこやか、しなやか、かかわりあう、わかりあう」は、当校の教育活動で大事にすることについての合い言葉でした。

いずれの場面でも3年生は常に前向きに取り組み、後輩達に良き模範を示してくれました。「しなやかに」な心で困難を乗り越え、仲間と「かかわりあう」ことでよりよい学習を創り上げる。互いの成長を「わかりあう」とともに、誰もが「にこやかな」学校生活が送れる。このような新たな伝統を創ってくれた3年生の皆さんに心から感謝します。ありがとうございました。



さて、卒業生の皆さんの生きていくこれからの世の中は、「VUCA」「ブーカ」と呼ばれる予測困難な時代です。不安定・不確実・複雑・曖昧という4つの英単語の頭文字をとった造語です。世界のグローバル化やデジタル化など発展が激しく、物事を決めたり動かししたりする要素が複雑であるため、次にどうなるかを予測することが難しくなっているのです。

こういった時代の大海原へ漕ぎ出す卒業生の皆さんに、私は次の言葉を贈ります。将棋の羽生善治さんの「何事であれ、最終的には自分で考える覚悟がないと、情報の山に埋もれるだけである」です。将棋では、かつては「この形になったら容易に負けない」という得意とする戦法をもつ棋士らが活躍した時代があったそうです。しかし、デジタル化などでデータ解析が急速に進み、どの戦法も指しこなせる棋士でないとタイトルを獲得しにくくなっています。また、人工知能AIを駆使した研究がさかんで、見逃していた好手や自分の発想になかった高度な指し方が次々出てきて、新しい発見の連続なのだといえます。しかし、AIで、勝つ確率が99%と出ていても、それは多くの候補の手から難解な正解を指し手である人間が続けて選んだ上での確率なのだそうです。AIは絶対ではなく、最終的に判断するのは人間なのです。簡単に答えを見つけようという合理性や効率よりも、自分で調べ、自分でじっくりと考える人になってほしいと思います。

考えるだけではなく、駒を動かすこと、つまり行動することも大事にしてください。「予測することが難しい」時代なのであれば、時代に適応しようというよりむしろ、自ら行動を起こし、自分が変化していく気持ちが大切です。「夢」が個人的な未来への願いであるのに対して、「志」は個人の願いを超えた未来への行動とも言えます。例えば「教師になりたい」と思う理由が「子どもが好きだから」「勉強してきたことを活かしたいから」というものであれば個人的な「夢」です。これに対し、「生徒の将来の希望を応援したい」「社会の幸せをつくる人々を増やしたい」という強い願望をもてば、それは「志」となります。行動する際には、「将来、どんな自分になって、どのようなことを成し遂げたいか」、まずは夢をしっかりと持ってください。そして、それを「志」にまでしていけるとよいと考えます。

西川中学校での日々の中で、仲間とともに磨いてきた自分自身と仲間との大切な友情を、かけがえない宝物にしてください。そして、人々の幸せが実現した世の中になることを皆さんの手で推し進めていってください。

(卒業証書授与式 式辞より一部抜粋)

# 第49回 卒業証書授与式

3月4日(火)、第49回卒業証書授与式が行われ、卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。卒業生を代表して、石井 奨真さんが、「私たちの前途には、これまで以上に大きな壁が立ちはだかることもあると思います。そんな時こそ、これまで仲間を信じてきたように、自分自身を信じ、一つ一つの壁を乗り越え、強く生きていきます」と答辞を述べました。

卒業式後には、卒業生全員で、卒業記念合唱「3月9日」を歌い上げました。全員が心一つにして合唱し、美しい歌声が講堂に響き渡りました。



# 生徒会 リーダー研修会

～創立50周年の西川中の理想像を考えました～

3月11日(火)と17日(月)の2回、令和7年度 生徒会本部役員、専門委員長、学年委員長、部活動の部長が参加して、リーダー研修会が行われました。

初めに校長先生より講話をしていただき、生徒会活動の目的、リーダーシップとは何か、リーダーになるための条件、メンバーに動いてもらうためのコツなどについて学びました。次に少人数グループになって、「今の西川中の良いところと課題」「創立50周年の西川中をどのようにしていきたいか」というテーマでファシリテーションを行いました。「学年を越えて関わり合う活動を増やしていきたい」「50周年の記念となるイベントを行い、学校を盛り上げたい」など、リーダーとしてこれからどんな活動をしていくのか、進んで意見を出し合っていました。



